

# 南東北病院

## 医師の仕事やはりすごい

### 高校生が一日体験 緊張しながら手術見学

医師を目指す県内の高校生1年生を対象にした平成30年度「地域医療体験セミナー」(医師コース)は8月21日(火)、総合南東北病院で開かれ、高校生が医療の現場で働く医師の仕事に理解を深めました。

県教委の委託事業「ふくしまの未来を担う夢応援事業」の一環で、医療人ネットワーク(福島県)が総合南東北病院と連携し



実際の手術を間近に見る高校生(左側の2人)

企画しました。医師として将来の地域医療を担っていく若者の育成が狙いで、今年2月に続いて2度目の開催。県内7校から男子4人、女子15人が参加しました。生徒たちは外科(1班)、外傷センター(2班・3班)、放射線治療・消化器内科・循環器内科(4班・5班)の各コースに分かれて、班ごとに研修しました。



医師のアドバイスを受け縫合の体験実習を行う高校生

は2人が単径ヘルニア、他の2人が胆嚢の手術を見学しました。生徒たちは医師の指導に従って爪の先まで入念に手洗いをした後、手術室に入り、医師用のガウンやゴム手袋を装着、手術に立ち会いました。生徒たちは目の前で行われる手術を緊張しながら見つめていました。また、医局内のカンファレンスルームで手術を想定した縫合や腹腔鏡の操作なども体験しました。



模擬骨を使った外傷センターでの体験実習

し、骨の矯正治療を学びました。4班、5班はがん陽子線治療センターやBNCT研究センターなど最先端の放射線医療施設のほか、内視鏡による検査や治療、超音波検査なども見学しました。

医師との意見交換を兼ねた昼食会では、医師を取り巻く医療の現状などを聞いた後、生徒たちは「医師になるにはどのくらい勉強すればよいか」「特に力を入れるべき科目は」などと質問。医師も自分の体験などを織り交ぜながらやさしく答えていました。生徒たちは体験を通してより明確になってきた目標の実現に向けて意識を高めていました。



昼食会で医師から体験談などを聞く高校生

### 陽子線治療実績 2018年8月末まで (2008年10月開院以降)

がん陽子線治療センター  
HPはこちら



### 当院の目標

- 患者さんに公正な医療を提供します。
- 医師による説明と、患者さんの選択に基づく医療を進めます。
- 患者さんのプライバシーを尊重します。
- 診療情報を患者さん自身にお伝えします。
- より良い医療が行われるよう研修・研鑽いたします。
- 患者さんの人生が最後まで豊かであるようにその意思を尊重します。